

## 特集号「半熔融・半凝固加工の最前線」

### の原稿募集

本誌「塑性と加工」平成30年10月号（59巻，693号）では，標記の特集号を企画しております．半熔融・半凝固とは，物体が固相線と液相線の間にある状態を指します．固体でもなければ，液体でもない状態です．半熔融・半凝固加工とは，半熔融・半凝固状態における加工，あるいは，半熔融・半凝固状態を利用した加工です．半熔融・半凝固加工の特徴である被加工材の変形抵抗を低減して小荷重で大変形を与え，熱間鍛造をはじめとする多くの塑性加工に対応し得る効率的な造形加工，という利点を活かし，今後の更なる技術的發展が期待されています．本特集号では，半熔融・半凝固加工に関して幅広い観点から，歴史と概要，最先端技術，海外の動向を解説し，最新の研究成果を発表する場をご提供したいと考えております．つきましては，皆様の最新の研究・開発の成果も会員の皆様に情報発信したいと思いますので，本テーマへの積極的なご投稿を心からお待ちしております．なお，勝手ながら原稿の採否は編集委員会・校閲運営委員会にご一任くださいますようお願い申し上げます．

原稿募集：論文，総説論文，速報論文，資料

申込締切：平成29年11月30日（木）

“半熔融・半凝固加工の最前線”と題し，原稿種別，題目，著者名，連絡先，および100字程度の概要をご記入の上，FAXまたはE-mailにてお申し込みください．

原稿締切：平成29年12月31日（日）

申込先：日本塑性加工学会編集委員会（担当：倉田）

（〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-11 Y・S・Kビル4F，FAX：03-5733-3730，E-mail：[kurata@jstp.or.jp](mailto:kurata@jstp.or.jp)）